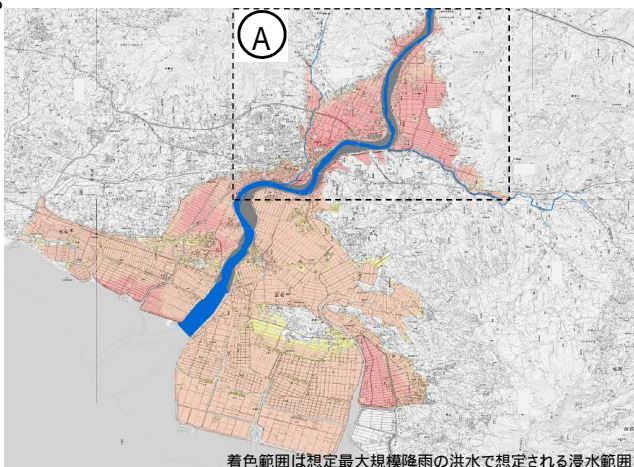


従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進

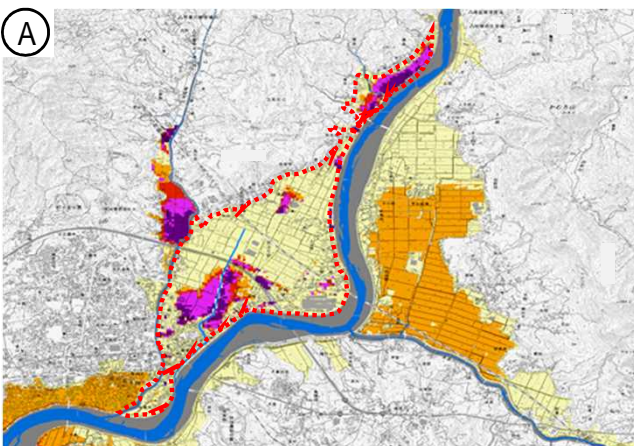
今後はこれに加えて浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進

水害リスク情報の充実

水害ハザードマップ



水害リスクマップ¹



..... 内水氾濫浸水解析対象範囲

¹ 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。(暫定版)

水害リスクマップの活用イメージ

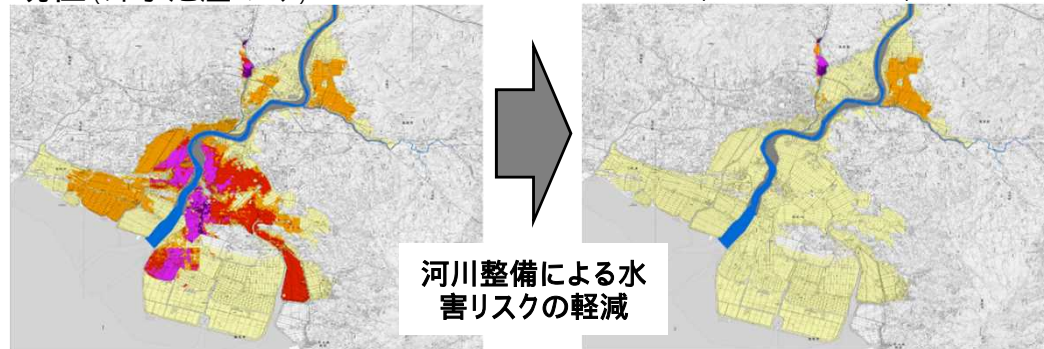
現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進

企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)

整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による水害リスクの軽減

【令和4年度の国土交通省としての取組】

全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了させるとともに、先行して、特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、内水も考慮した水害リスクマップを作成

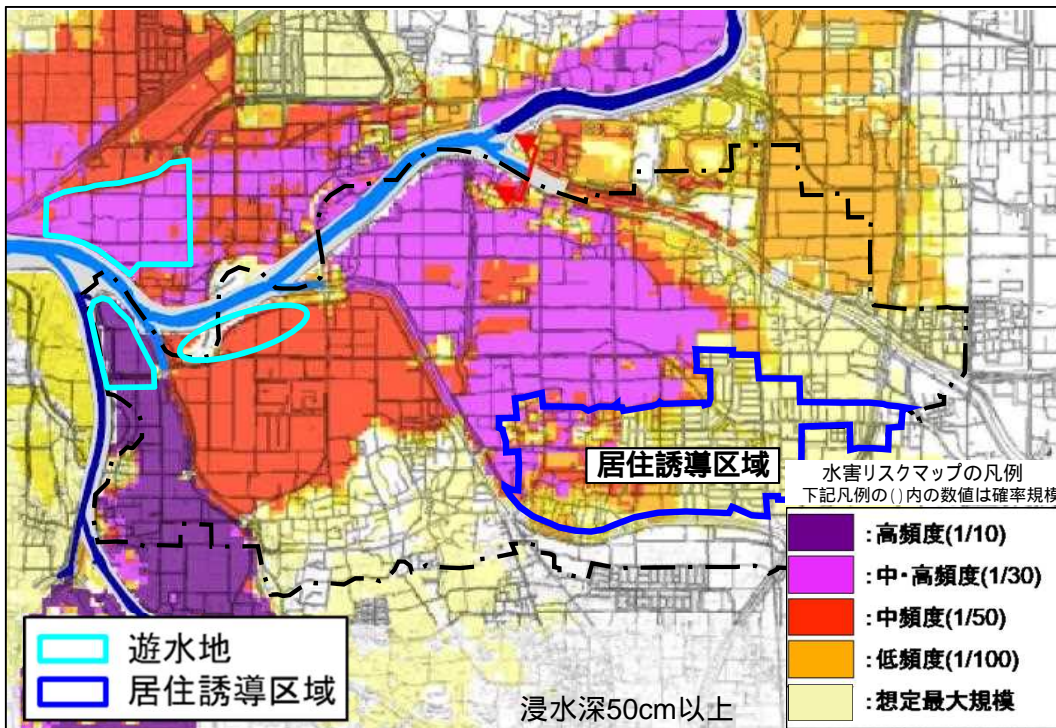
水害リスク情報の活用

浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した水害リスクマップ(浸水頻度図)について、防災まちづくりを推進する地域における対策検討の充実に資するよう、外水に加え内水も考慮した水害リスクマップを作成。

水害リスクマップのベースとなっている多段階の浸水想定図を国土数値情報などでオープン化するとともに、床上浸水の可能性など、実感が得られやすい形で表示・提供し、情報の利活用を推進。

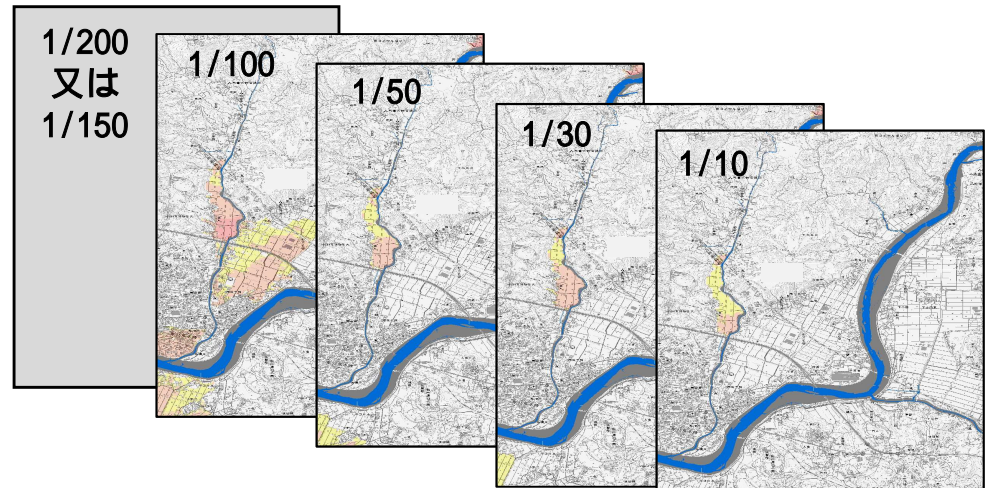
防災まちづくりにおける水害リスク情報の活用推進

防災まちづくりを推進する市町村等を対象に、外水に加え内水も考慮した水害リスクマップを作成の上、治水対策の検討や立地適正化計画における防災指針の検討・作成への活用を推進することで、水害リスクの高い地域を避けた居住誘導や、浸水に対する住まい方の工夫等を促進。



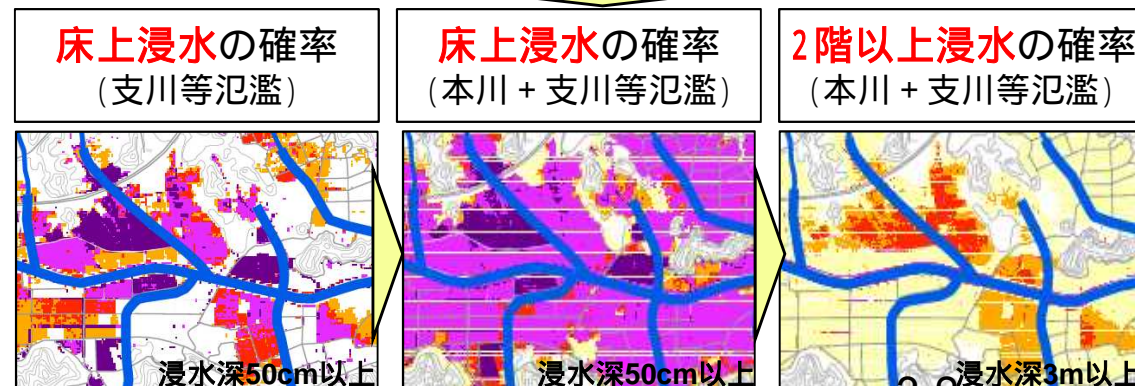
水害リスクマップを活用した防災まちづくり検討イメージ

水害リスク情報の見える化



令和5年度よりオープンデータ化に着手し、民間等の様々な主体における利活用を促進

実感が得られる形で見える化



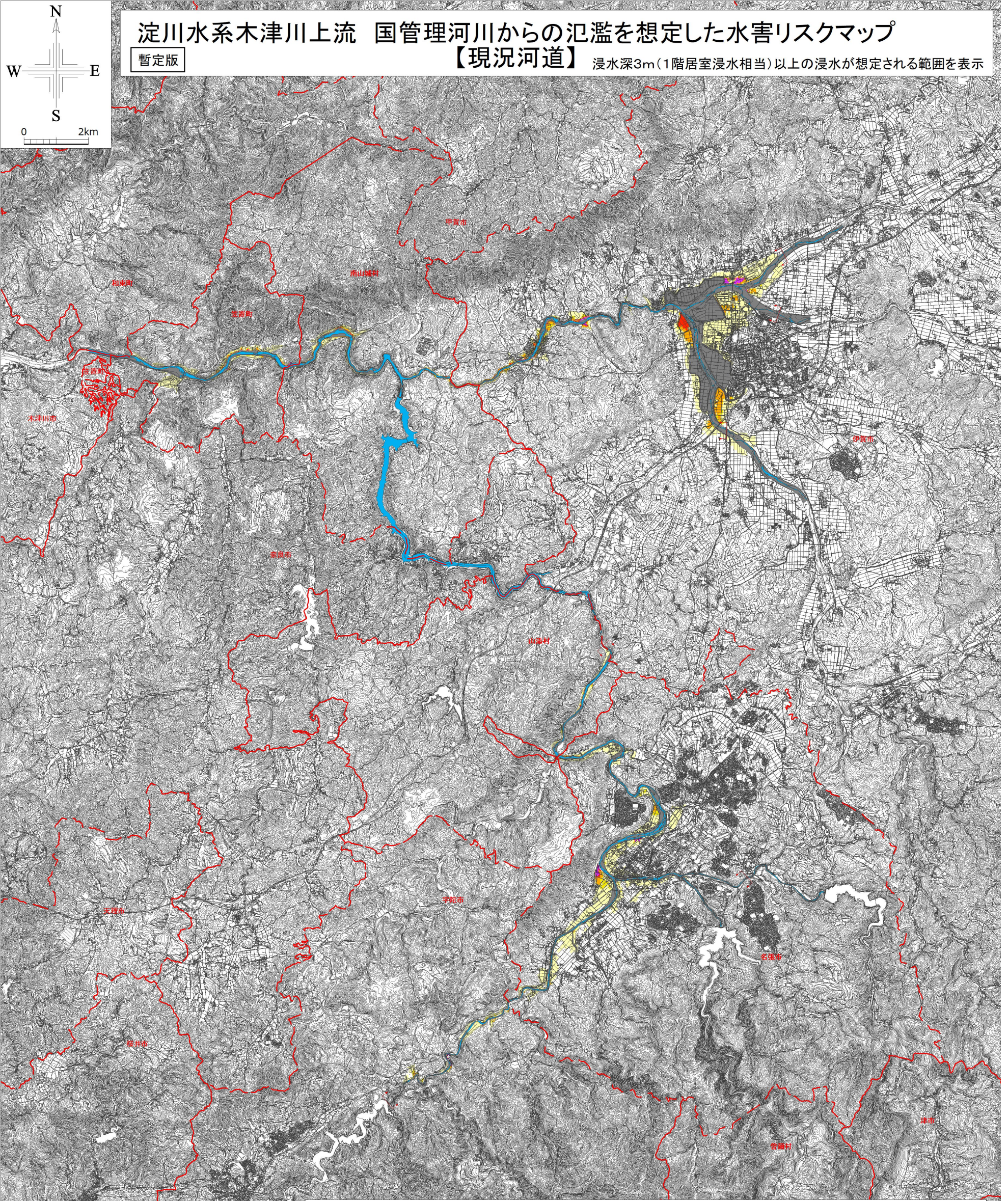
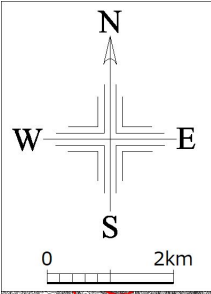
水害リスク表示のイメージ

淀川水系木津川上流 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

暫定版

【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



1 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（約3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（約0.7%））の降雨に伴う洪水により木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：昭和40年9月型、木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）・服部川・柘植川：昭和47年9月型、名張川・宇陀川：昭和34年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年6月（令和元年10月修正）に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2 基本事項

- 公表年月日 令和5年1月31日
- 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 - 木津川上流河川事務所：淀川水系木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川
- 実施区間
 - 【木津川上流河川事務所】
 - 淀川水系木津川【上流】
 - 左岸：三重県伊賀市大内宇川原2686番の1地先から京都府相楽郡笠置町笠置宇野田1まで
 - 右岸：三重県伊賀市守町荒内大内橋地先から京都府相楽郡笠置町大字切山小宇野毛田3まで
 - 淀川水系服部川
 - 左岸：三重県伊賀市服部町宇向中川原2145番の1地先から木津川への合流点まで
 - 右岸：三重県伊賀市服部町宇上川原1354番の1地先から木津川への合流点まで
 - 淀川水系柘植川
 - 左岸：三重県伊賀市山神字竹ノ下272番地先から服部川への合流点まで
 - 右岸：三重県伊賀市山神字谷尻404番地先から服部川への合流点まで
 - 淀川水系名張川
 - 左岸：三重県名張市大字下比奈知松尾411番地地先から奈良県山辺郡山添村吉田1133番の2地先まで
 - 右岸：三重県名張市大字下比奈知下堀内1186番地地先から三重県伊賀市大滝970番地地先まで
 - 淀川水系宇陀川
 - 左岸：奈良県宇陀市室生大野1469番地地先から名張川への合流点まで
 - 右岸：奈良県宇陀市室生大野3846番地地先から名張川への合流点まで

(4) 算出の前段となる降雨

- 年超過確率1/10
- 木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：加茂地点上流域の12時間総雨量155mm
 - 木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量157mm
 - 服部川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量157mm
 - 柘植川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量157mm
 - 名張川：家野地点上流域の9時間総雨量155mm
 - 宇陀川：家野地点上流域の9時間総雨量158mm
- 年超過確率1/30
- 木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：加茂地点上流域の12時間総雨量195mm
 - 木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量196mm
 - 服部川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量196mm
 - 柘植川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量196mm
 - 名張川：家野地点上流域の9時間総雨量206mm
 - 宇陀川：家野地点上流域の9時間総雨量206mm
- 年超過確率1/50
- 木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：加茂地点上流域の12時間総雨量213mm
 - 木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量214mm
 - 服部川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量214mm
 - 柘植川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量214mm
 - 名張川：家野地点上流域の9時間総雨量229mm
 - 宇陀川：家野地点上流域の9時間総雨量229mm
- 年超過確率1/100
- 木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：加茂地点上流域の12時間総雨量238mm
 - 木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量238mm
 - 服部川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量238mm
 - 柘植川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量238mm
 - 名張川：家野地点上流域の9時間総雨量262mm
 - 宇陀川：家野地点上流域の9時間総雨量262mm
- 年超過確率1/150
- 木津川【上流】（鳥ヶ原より下流）：加茂地点上流域の12時間総雨量253mm
 - 木津川【上流】（鳥ヶ原より上流）：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量252mm
 - 服部川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量252mm
 - 柘植川：鳥ヶ原地点上流域の9時間総雨量252mm
 - 名張川：家野地点上流域の9時間総雨量282mm
 - 宇陀川：家野地点上流域の9時間総雨量282mm

(5) 河道条件：現況

(6) 関係市町村 奈良市、笠置町、和東町、南山城村、山添村、宇陀市、伊賀市、名張市

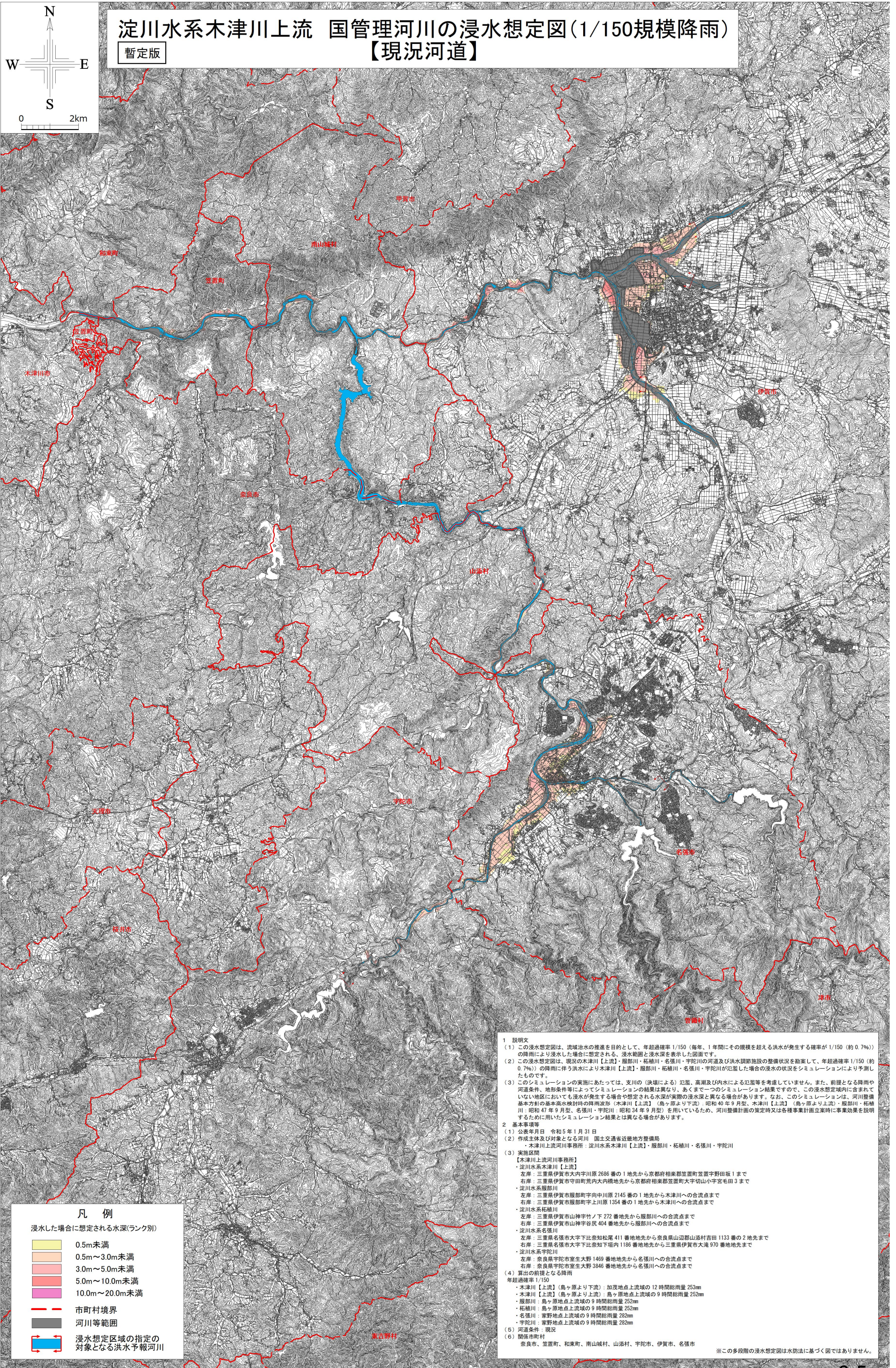
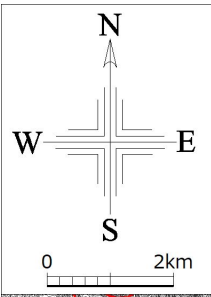
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

- 想定最大規模
- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

淀川水系木津川上流 国管理河川の浸水想定図(1/150規模降雨) 【現況河道】

暫定版



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

Yellow	0.5m未満
Orange	0.5m~3.0m未満
Red	3.0m~5.0m未満
Pink	5.0m~10.0m未満
Purple	10.0m~20.0m未満

--- 市町村境界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/150 (毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150 (約 0.7%) の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/150 (約 0.7%) の降雨に伴う洪水により木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(木津川【上流】(鳥ヶ原より下流)、昭和 40 年 9 月型、木津川【上流】(鳥ヶ原より上流)、服部川・柘植川:昭和 47 年 9 月型、名張川・宇陀川:昭和 34 年 9 月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 公表年月日 令和 5 年 1 月 31 日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・木津川上流河川事務所: 淀川水系木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川

(3) 実施区間
 【木津川上流河川事務所】
 ・淀川水系木津川【上流】
 左岸: 三重県伊賀市大内字川原 2686 番の 1 地先から京都府相楽郡笠置町笠置野田坂 1 まで
 右岸: 三重県伊賀市守町町荒内大内橋地先から京都府相楽郡笠置町大字切山小字宮毛田 3 まで
 ・淀川水系服部川
 左岸: 三重県伊賀市服部町字向中川原 2145 番の 1 地先から木津川への合流点まで
 右岸: 三重県伊賀市服部町字上川原 1354 番の 1 地先から木津川への合流点まで
 ・淀川水系柘植川
 左岸: 三重県伊賀市山神字竹ノ下 272 番地先から服部川への合流点まで
 右岸: 三重県伊賀市山神字谷尻 404 番地先から服部川への合流点まで
 ・淀川水系名張川
 左岸: 三重県名張市大字下比奈知松尾 411 番地先から奈良県山辺郡山添村吉田 1133 番の 2 地先まで
 右岸: 三重県名張市大字下比奈知下垣内 1186 番地先から三重県伊賀市大滝 970 番地先まで
 ・淀川水系宇陀川
 左岸: 奈良県宇陀市室生大野 1469 番地先から名張川への合流点まで
 右岸: 奈良県宇陀市室生大野 3846 番地先から名張川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨
 年超過確率 1/150
 ・木津川【上流】(鳥ヶ原より下流): 加茂地点上流域の 12 時間総雨量 253mm
 ・木津川【上流】(鳥ヶ原より上流): 鳥ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 252mm
 ・服部川: 鳥ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 252mm
 ・柘植川: 鳥ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 252mm
 ・名張川: 家野地点上流域の 9 時間総雨量 282mm
 ・宇陀川: 家野地点上流域の 9 時間総雨量 282mm

(5) 河道条件: 現況

(6) 関係市町村
 奈良市、笠置町、和東町、南山城村、山添村、宇陀市、伊賀市、名張市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。